



こんにちは

日本共産党 市議会議員

市議会報告
2016年5月号

田中 光明 です

子ども医療 通院助成 小6まで拡大

日本共産党 中3まで自己負担なしを要求

子ども医療

10月から①通院助成を小6まで拡大②入院の自己負担ゼロ③後日返金を窓口清算に④所得制限の廃止が決まり、大きく前進しました。しかし、3歳～就学前の通院は新たに自己負担を月500円（2019年4月から600円）、小学生は月1,200円にします。

日本共産党は一貫して次の4点を要求してきました。①通院・入院の助成は中3まで②自己負担ゼロ③後日返金ではなく窓口清算に④所得制限の廃止。引き続き実現まで奮闘します。

2月予算議会の予算特別委員会で行った質問・要望の一部を紹介します。



就学援助を早く

就学援助は小中学生の5人に1人で全国平均より子どもの貧困化が深刻です。教育委員会は就学援助のうち、入学準備金を5月頃、交通費を9月頃支給。工夫して支給を早めるよう要求しました。

埋立失敗205億円

港湾埋立事業の負債は約515億円。資産は未売却の土地約311億円。土地が全部売れても204億円の一般会計持ち出し（市民負担）になります。埋立事業が破綻した責任は重大です。

少ない中小企業予算

大企業は1社に10億円以上

の施設・雇用補助金がありますが、中小企業の予算額はわずかです。抜本的な増額が必要です。雇用の見込みが最も多いのは医療・介護・子育て分野。全事業所調査が必要です。こういう中小事業所にこそ、賃上げのために「雇用助成金」が必要です。



無料法律・生活相談

○無料生活相談

平日の午前10時～午後5時受付

○無料法律相談

第1・第3水曜日 午後6時30分から。

電話で予約を。

○場所 八幡西区三ヶ森4丁目 10-3 (セブンイレブン・三ヶ森4バス停前)

○電話 093-613-5884

※相続、離婚、生活、要望など何でも。弁護士と田中市議がお聞きします。



FOR ONE MILLION SMILES

市議会ニュース

100万人の笑顔のために

2016・5・1
No.519